

## 平成25年度授業シラバスの詳細内容

科目名(英)	スポーツリテラシーⅧB(Sports LiteracyⅧB)		授業コード	E002159
担当教員名	武田 正芳			
配当学年	4	開講期	後期	
必修・選択区分	選択	単位数	4	
履修上の注意または履修条件	指定クラブ学生のみ受講可。			
受講心得	学生自らがチームを作っていくという気持ちを忘れないこと。			
教科書				
参考文献及び指定図書	特になし。			
関連科目	健康の科学、スポーツサイエンス、生涯スポーツ指導、スポーツ実践・基礎Ⅰ・Ⅱ、スポーツ実践			

授業の目的	前期に引き続きバスケットボールの技術・戦略を理解し、各個人の考え方をまとめることにより指導方法を身につけ、競技力向上に役立てることを目的とします。
授業の概要	10月の全九州大学バスケットボールリーグ戦第2週や入替戦を戦います。リーグ戦終了後1年間の練習計画を全員で反省し、来年度のリーグ戦に向け計画を立て実行していきます。個人では、リーグ戦を戦った結果から新たな目標を立て新しい技術に挑戦するなど、個人のスキルアップを目指します。

<b>○授業計画</b>		
<b>学修内容</b>	<b>学修課題(予習・復習)</b>	
<b>試合期 9月～10月</b> 全九州大学バスケットボールリーグ戦第1週の反省と、第2週の対戦相手に対しての対策を行います。全九州大学バスケットボールリーグ戦第2週を戦います。結果により入替戦を戦います。	試合期ではチームの勝利のため個人が何が出来るのかを考え行動すること。	
<b>準備期 11月～3月</b> リーグ戦の結果を全員で反省し、来年度のリーグ戦に向け計画を立て実行していきます。個人では新たな目標を立て新しい技術に挑戦するなど個人のスキルアップを目指します。全体では基礎体力の養成、新チームでのチームディフェンス・オフェンス目標設定し、各大会(三地区学生バスケットボール選手権大会、大分総合バスケットボール選手権大会、九州学生バスケットボール交歓大会、南九州四県対抗バスケットボール選手権大会)で確認、反省を行います。	準備期では色々なことにチャレンジできる時期です。リーグ戦での反省を生かし、個人の目標を決め練習に参加すること。	
<b>授業の運営方法</b>	(1)授業の形式	「演習等形式」
	(2)複数担当の場合の方式	
	(3)アクティブ・ラーニング	
<b>備考</b>		

<b>○単位を修得するために達成すべき到達目標</b>	
<b>【関心・意欲・態度】</b>	リーグ戦の結果を全員で反省し、来年度のリーグ戦に向け計画を立て実行している。
<b>【知識・理解】</b>	リーグ戦での反省を生かし、個人の目標を決め練習に参加している。
<b>【技能・表現・コミュニケーション】</b>	新チームでのチームディフェンス・オフェンス目標設定し、各大会で確認、反省を行い実践できてい
<b>【思考・判断・創造】</b>	チームの勝利のため個人が何が出来るのかを考え行動できている。

○成績評価基準(合計100点)			合計欄	100点
到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点	期末試験・中間確認等(テスト)	レポート・作品等(提出物)	発表・その他(無形成果)	
<b>【関心・意欲・態度】</b> ※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。			15点	
<b>【知識・理解】</b> ※「専門能力<知識の獲得>」を含む。			15点	
<b>【技能・表現・コミュニケーション】</b> ※「専門能力<知識の活用>」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。			45点	
<b>【思考・判断・創造】</b> ※「考え抜く力」を含む。			25点	
<b>(「人間力」について)</b> ※以上の観点到、「こころの力」(自己の能力を最大限に発揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係を築き、人格の向上を目指す能力)と「職業能力」(職業観、読解力、論理的思考、表現能力など、産業界の一員となり地域・社会に貢献するために必要な能力)を加えた能力が「人間力」です。				

○配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安	
成績評価方法	評価の実施方法と達成水準の目安
レポート・作品等(提出物)	
発表・その他(無形成果)	達成水準の目安は以下の通りです。 [Sレベル] 単位を修得するために達成すべき到達目標を満たしている。 [Aレベル] 単位を修得するために達成すべき到達目標をほぼ満たしている。 [Bレベル] 単位を修得するために達成すべき到達目標をかなり満たしている。 [Cレベル] 単位を修得するために達成すべき到達目標を一部分満たしている。